

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

中学校区におけるめざす子ども像 自らの課題に気づき、学び続ける子	堺市立 日置荘西小学校 校長 石田 愛
-------------------------------------	------------------------

令和6年度 重点目標 ◆「ひ＝一人ひとりの個性を大切に」…発達段階や特性に応じた児童理解を進め、一人ひとりを大切にし個性や可能性を伸ばす ◆「に＝ここに笑顔あふれる環境のもと」…健やかで安心安全、秩序と活気のある教育環境づくりを、保護者・地域との連携・協働のうえ、教職員のチーム力を持って取り組む。	◆「き＝きれいで落ち着き」…規範意識を持ち、互いの立場を思いやることができる豊かな心を育てる ◆「し＝しっかり考え、学びあう児童を育成」…自ら学び、他者と協働しながら、学んだことを生かしていける資質・能力の育成
---	--

確かな学びの現状 ○「日置西スタンダード」を数年間提示してきており、未だに定着度にばらつきが見られるものの、その定着度はあがっている。 ○「検証分析改善シート」の結果より、学習することが大切だと感じている児童が多い。 ○落ち着いて課題に取り組む姿や、意欲的に学びを進める姿が多く見られる。一方で、自分の思いを話したり、相手に伝わるように書いたり、説明したりすることに苦手意識を感じ、どうすればよいか困っている児童もいる。 ○自己や友だち、教師との対話の中で、新たな見方や考え方に気づき、考えを深めることができている場面も増えてきてはいるが、まだ定着できたとは言い難い。	豊かな心・健やかな体の現状 ○居場所と出番のある安心できる学級づくりを行い、積極的に学んだり、関わり合ったりする中で、豊かな心を育成する。 ○なかよし会など異学年集団での活動を通して、リーダー性・自主性を育成する。 ○体育授業で児童振り返りを活用し、体力向上をめざす。 ○生活集団については朝食喫食率は高いが、就寝時刻を守れている児童の割合が低い。
--	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	特別支援	人と人との関係や教室環境など、学習環境のユニバーサルデザイン化を図り、どの子も集中して学べる環境づくりを進める。	「日置西スタンダード」にもとづき、学習環境のユニバーサルデザイン化について共通理解し取り組むことで、どの子にもわかりやすく、集中して学べる環境づくりをすすめる。	児童アンケート(肯定80%以上) 「1日の流れを分かって生活できている」 「授業中、落ち着いて学習に取り組めている」	教育アンケート	年度末	○ 毎月末に「日置西スタンダード」(支援版)にもとづいて、環境整備等ができているかを確認している。また、評価を振り返ることにより定着が進んでいる。	○ 全学年が両項目で80%以上の肯定的結果が表れた。普段の授業や行事等で流れを確認して、自ら考えて行動することができた。	○ 日置西スタンダードに基づき、子どもに合わせた教育ができています。モニターに制限時間が出ていて、とてもわかりやすいです。一方で全体の時間配分を自分でできるようにすることも大事だと思います。チャイム廃止も増えているので、子ども自身が時間管理できるようになると思います。
	教科学習	対話から探究的に思考し、考えを深めることができる児童を育てるために、今年度から「子どもをつなげる工夫」「ふりかえり」「基礎力向上」「ICT活用」の4つを重点目標に置いて授業づくりに努め、児童一人ひとりの資質・能力の向上をめざす。また、日置西スタンダードとして、研修・人権・支援の3つの視点から自身を見つめ、児童が学ぶ土台作りの徹底をはかる。	●★他者や指導者との対話、ICT、本などの資料の活用によって、新たな見方・考え方に気づき、自分の考えをより深めることができる児童を育てる。	児童アンケート(肯定80%以上) 低中高の「考えの深まり」を示す項目 「タブレット・本などの資料を使って調べる活動を行っている。」	教育アンケート	年度末	○ ICTや本などで情報を得つつ、友だちや先生との対話活動に意欲的に取り組み、考えを深めている児童が多い。□	◎ 全学年が両項目で80%以上の肯定的結果が表れた。「タブレット・本を使った調べ活動」については全体で90%以上の肯定的評価が表れた。	◎ タブレット学習を利用して学ぶことができていました。一人での学習にとどまらず、他の人と協同で学習する機会がたくさんありました。キーボードの操作が上手にできています。タブレットを使う学習はいいと思います。
			児童一人ひとりの学びを見とる目を養いながら、授業力向上にむけて研修テーマにそった授業研究をグループで行い、それについて討議し、授業改善に活かす。	研究授業・公開授業を年に6本以上行う。	実践報告	毎学期	○ 1・3・4・5年が研究授業・公開授業を行った。授業後に検討会を行い、授業改善に努めることができています。また支援学級・通級学級でも公開授業を行い、児童理解にも努めている。	○ 全学年が研究授業・公開授業を行った。授業後に討議会を行い、それぞれ日々の授業に活かしていけるように改善に努めることができた。	○ やらされているのではなく、自分で考えて行動する力がついてきています。
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	自分のよさを知り、多様な価値観を認め、人とつながり協働できる児童を育てる。	特別の教科道徳の年間計画に基づき、すべての教育活動において計画的・継続的に道徳教育を充実させる。	教科書や「未来をひらく」の効果的・計画的な活用。道徳の公開授業の実践。	実践報告	毎学期	○ 学習参観にて、全学級、年に1回以上の公開授業を実施している。校内研究授業でも研修を行った。各学級、おおむね計画通りに授業を行っている。	○ 学習参観にて全学級、年に1回以上の公開授業を実施できた。校内研究授業でも授業・討議会を行い、計画通りに授業を行うことができた。	○ 道徳は、難しいけど大切な学習だと思います。児童が学んだことを身近にとらえられるように、心の成長ができるように、これからも取り組みを行ってほしいです。
			●教育活動全体を通して、友だちと学ぶ楽しさや達成感を味わったり、自他の良さに気づいたりできるように取り組み、安心できるなかまづくりを行う。	児童アンケート(肯定90%以上) 「学校が楽しい」 「困ったときに相談できる人がいる」 「学校で、友だちと仲良くすごしている」	教育アンケート	年度末	○ 学級や学年間で、授業、行事、友だちとの関わりを通して仲間づくりを行っている。また、なかよし会、クラブ・委員会活動、連合運動会や連合音楽会の壮行会を通して、学年の枠を超えて関わる事ができている。	○ 年間を通して他学年と関わる事ができた。アンケートの結果では、学校は楽しく、友だちとも仲良く過ごしている様子がわかった。なかよし会も年間を通して積極的に活動できた。	◎ 全学年仲が良いイメージがあります。兄弟間での会話によく「今日のなかよし会何した?」と話していて、異学年での取り組みはいいと思います。先生は子どもたちによりそうことができています。
			学校生活において、あいさつやそうじなど、活動の意義を理解することで、豊かな心を育み、意欲的に取り組む力を育成する。	児童アンケート(肯定90%以上) 「あいさつを自分からしている」 「そうじを最後までしっかり取り組んでいる」	教育アンケート	年度末	○ あいさつに関しては、進んで挨拶をしたくれる児童が増えてきた。掃除では責任感を持って自分の分担当場所を最後まで行う。片付けへの声かけ等は続けていきたい。また、時間を守ることを意識できるよう指導を続けていく。	○ あいさつを進んでする児童が増えてきた。これからは進んであいさつができるように声かけすること、また教師が見本を見せることも続けていきたい。掃除に関しては頑張っている様子も見られ、子どもたちも肯定的に捉えることができていた。	○ 学校外でも地域の方にあいさつしてくれる子がいます。子どもたちから自主的にあいさつができている子が多くなります。3月の生活目標「あいさつを自分からしよう」がよくてきています。登下校時のあいさつが少しずつ言えるようになってきています。
	体育・保健	児童の振り返り・げんきアップカードを活用し、健康な体づくりをする。	児童の振り返りを活用し、課題解決型の体育の授業を充実させ、体力向上を図る。 げんきアップカードで、規則正しい生活習慣についての啓発を行う。	①児童アンケート肯定90%以上 「うまくなるように考えて運動している」 ②げんきアップカードを年3回実施、生活習慣に関する保健指導を年1回実施	①教育アンケート ②げんきアップカード	年度末	○ 各単元で振り返りカードを作成し、体育授業の充実と向上に取り組んでいる。 毎学期「げんきアップカード」実施し、結果を保護者にフィードバックしている。また、発育測定時に保健指導を行った。	◎ 振り返りカードを作成・活用し、体育の授業の充実と向上に取り組めた。げんきアップカードを実施し、保護者へのフィードバックすることができた。規則正しい生活習慣を目指すことができた。なわとびタイムを取り入れ、体力向上を図ることができた。	◎ 正しい生活習慣をすることに前向きになれていい取り組みだと思います。
			児童の振り返り・げんきアップカードを活用し、健康な体づくりをする。	児童の振り返りを活用し、課題解決型の体育の授業を充実させ、体力向上を図る。 げんきアップカードで、規則正しい生活習慣についての啓発を行う。	①児童アンケート肯定90%以上 「うまくなるように考えて運動している」 ②げんきアップカードを年3回実施、生活習慣に関する保健指導を年1回実施	①教育アンケート ②げんきアップカード	年度末	○ 各単元で振り返りカードを作成し、体育授業の充実と向上に取り組んでいる。 毎学期「げんきアップカード」実施し、結果を保護者にフィードバックしている。また、発育測定時に保健指導を行った。	◎ 振り返りカードを作成・活用し、体育の授業の充実と向上に取り組めた。げんきアップカードを実施し、保護者へのフィードバックすることができた。規則正しい生活習慣を目指すことができた。なわとびタイムを取り入れ、体力向上を図ることができた。
地域協働	地域共育学校	学校情報を積極的に発信するとともに、保護者や地域住民による学校評価、学校経営への参画、授業への参加により、地域に信頼される学校づくりを進める。	学校だより「いとほぎ」、学年だより、ホームページ等を活用し、教育活動の現状や、学校、学級での取り組みの発信に努める。	学校ホームページを毎日更新し、情報を発信することで、関心を高める。	更新数	毎月	○ 毎日の学校の様子や主な行事の様子をホームページに掲載している。学校だより(いとほぎ)にも取り組みや活動内容を写真付きで掲載している。	○ ホームページをほぼ毎日更新し、各学級での様子を伝えるとともに、学校教育活動の発信を行うことができた。毎学期の学習参観や体育大会、土曜参観等、保護者に教育活動を参観していただく機会を設けた。	◎ ホームページ楽しみにしています。学校だよりを前月末に発行してほしいです。学校だよりやホームページにより、積極的に発信できています。ホームページを見ている人も多いのいいと思います。外部への発信というのはとても重要であり、継続してほしいです。
			●地域ボランティア等に教育活動の場に参加していただき、図書や特別支援等への支援を受けるとともに、学校経営への参画や学校評価への協力を受け、学校改善を図る。	地域ボランティア等への協力依頼や活動回数を増やす。	実践報告	年度末	○ 地域ボランティアの方に、学校図書館の運営に関わっていただいている。また、学習園での夏野菜等の栽培において、授業に参加していただける機会を設けた。	○ 地域ボランティアの方が中心となって、放課後に3年生対象の算数学習(学ing)を実施することができた。また、地域ボランティアの方に学校図書館の運営に関わっていただき、図書の時間に返却・貸出や読み聞かせ等をしていただいた。	○ 連合町会に学校関係者が毎月出席し、学校の状況を伝えています。。すばらしい取り組みをしていると思います。

校長より(年度末) どの学年でも1人1台のタブレットを使用し、児童が主体的・探究的に活動できる教育を推進した。ICTの活用方法について発達段階に応じて各学年ごとに目標を設定し、タブレットが筆記用具と同じくらい身近な学習道具となるよう活用の促進を図った。その結果、基礎基本の定着だけでなく、自分の考えをまとめたり、発信したりするなど、発表ノートやパワーポイントを活用できるようになり、ICTの活用実践力の向上した。これからの時代を行きぬく児童の育成にむけて、引き続きICTの活用能力の向上をめざしていく。 次年度から堺市ではじまる「学びのコンパス」にむけて、個別最適な学びと協働的な学びを効果的に取り入れ、授業改善を図る研修を年間を通して実施した。個に応じた学習内容や学習方法を児童が自分で計画しながら、仲間との交流を通して共に学び合える教育について、さらに研修を深めていきたい。 今年度も多様性を尊重し、一人ひとりが安心して過ごせる居場所と出番のある学級づくりに取り組んだ。引き続きすべての児童が個人として尊重される学級・学校づくりを推進していく。全児童で取り組む学校行事や、防災訓練などの地域との協働行事を実施し、学校・地域・保護者で連携した学校運営に取り組むことができた。 いただいたご意見を考慮し、次年度の学校運営をよりよいものにしていきたい。	学校関係者評価者から(年度末) 普段から子ども一人ひとりに合わせた授業をしていて、その子の個性を伸ばしてあげることができています。また、どの学級でも、授業に集中できる環境をつくりができています。学校全体に明るい様子が伝わり明るい学級づくりを心掛けているのがよくわかります。また、先生からの子どもたちの声掛けが指示ではなく、「○○どうする?」「何分必要?」など、自分たちで考えさせるような言い方ができていました。これから先、自分たちで考えて行動する力を身につけていくには大事なことだと思います。学校全体の雰囲気がよく、全般的に元気で生き生きと学習している様子が見られました。「ひきにスタンダード」が子どもたちに定着していて、あいさつがしっかりできています。各クラスの担任の先生たちは明るく、こどもたちもいきいきしていました。給食は前を向いて一人ひとりで食べているが、班で食べる機会があってもいいと思います。ランチルームで食べることも、子どもたちにとって楽しい食事の機会になると思います。
---	---